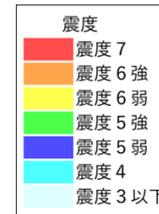
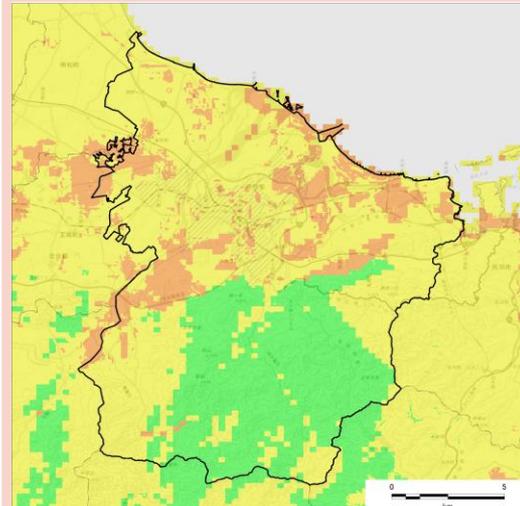
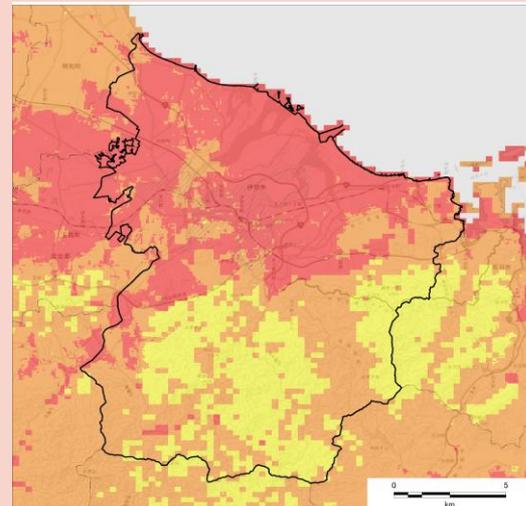


1. ハザード評価

(1) 地震動

【L2】理論上最大クラス

【L1】過去最大クラス



< 震度別面積割合 >

(参考) 総面積 = 208.4km²

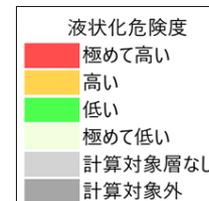
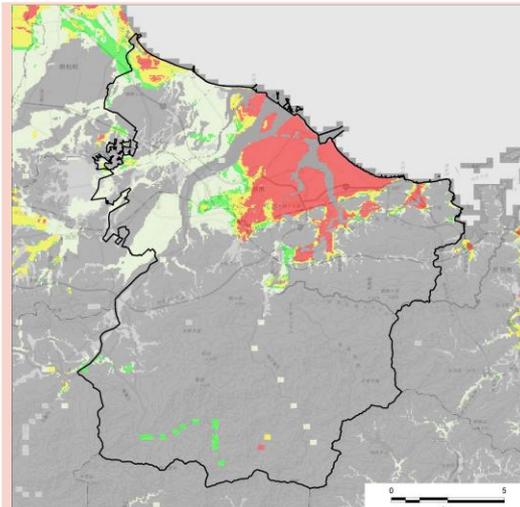
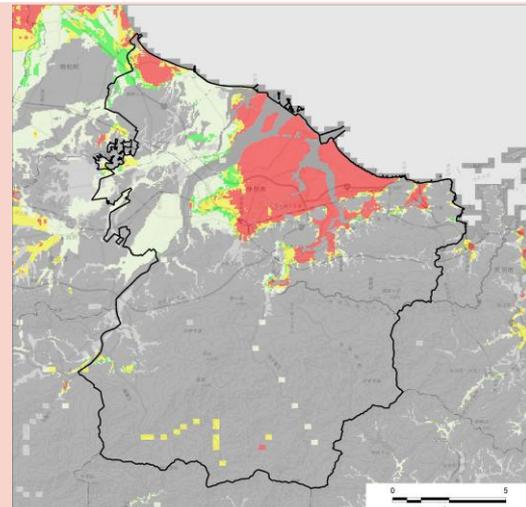
	【L2】理論上最大クラス		【L1】過去最大クラス	
	面積 (km ²)	割合	面積 (km ²)	割合
7	85.3	41%	0.0	0%
6 強	74.8	36%	33.0	16%
6 弱	48.3	23%	115.3	55%
5 強	0.0	0%	60.0	29%
5 弱	0.0	0%	0.0	0%

※震度別面積の合計は、四捨五入により総面積と一致しない場合があります。

(2) 液状化

【L2】理論上最大クラス

【L1】過去最大クラス



< 液状化危険度別面積割合 >

(参考) 総面積 = 208.4km²

	【L2】理論上最大クラス		【L1】過去最大クラス	
	面積 (?)	割合	面積 (?)	割合
極めて高い	23.2	11%	18.7	9%
高い	5.6	3%	6.1	3%
低い	2.5	1%	4.2	2%
極めて低い	18.1	9%	20.4	10%
計算対象層なし	159.0	76%	159.0	76%
計算対象外				

※液状化危険度別面積の合計は、四捨五入により総面積と一致しない場合があります。

1. ハザード評価

(3) 沿岸最大津波高

L2	L1
8m	6m

(4) 沿岸津波到達時間

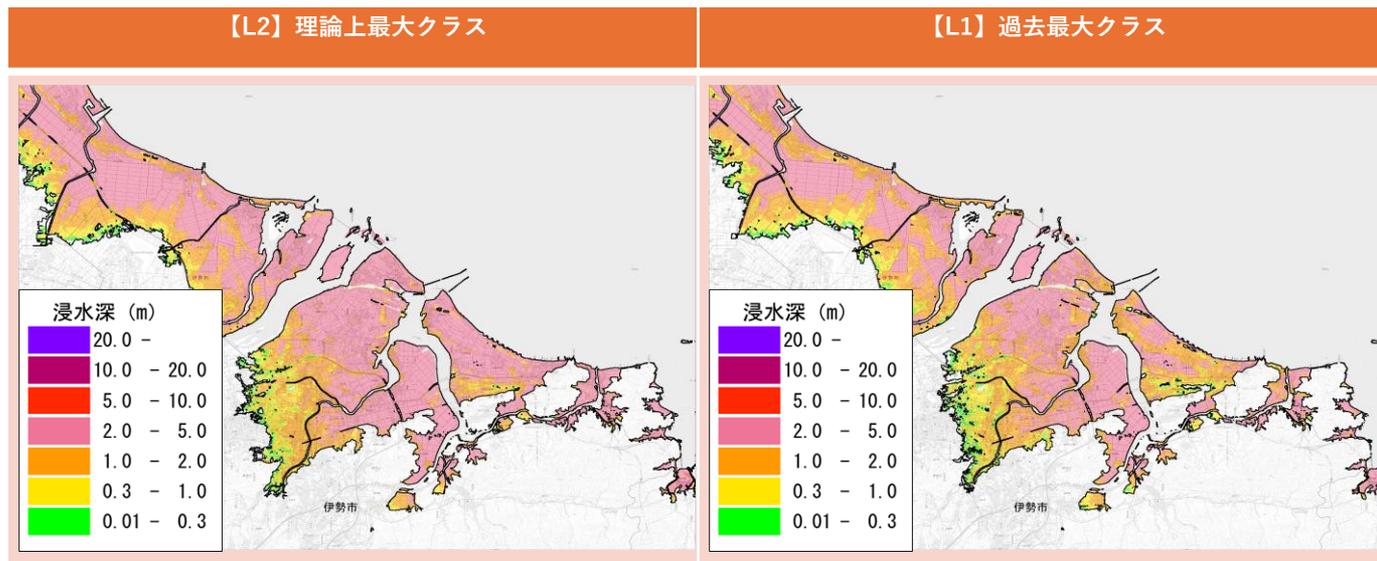
L2	L1
22分	30分

※沿岸で1mの水位変動が発生するまでの最短の時間

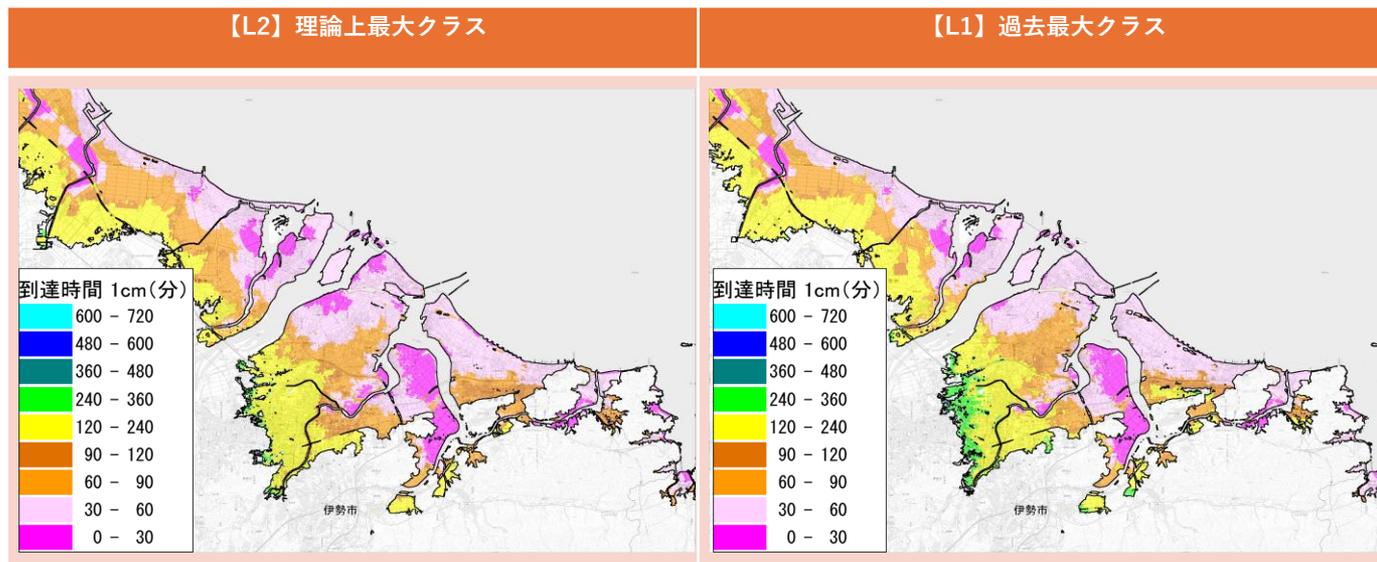
(5) 津波浸水面積

L2	L1
3,805ha	3,618ha

(6) 津波浸水深



(7) 津波浸水深到達時間 ※陸上で1cmの浸水が発生するまでの時間



2. リスク評価

(1) 人的被害

※L2の死者数は津波ケース⑨の推計結果

※季節・時間帯：冬・深夜

※津波からの早期避難者比率が低い場合

定量評価項目	L2	L1
死者数（人）	約6,900	約2,400
うち建物倒壊等	約1,300	約100
うち津波	約5,500	約2,300
うち急傾斜地崩壊等	約10	約10
うち火災	約80	-
うちブロック塀 ・自動販売機転倒 および屋外落下物	-	-
重傷者数（人）	約2,700	約200
軽傷者数（人）	約4,100	約1,500
建物倒壊等による 自力脱出困難者数（人）	約5,800	約500
津波被害による 要救助者数（人）	約5,600	約3,100
津波被害による 要搜索者数（人）	約5,000	約2,300

(2) 建物被害

※L2の全壊・焼失棟数は津波ケース⑨の推計結果

※季節・時間帯：冬・夕方

定量評価項目	L2	L1
全壊・焼失棟数（棟）	約34,000	約8,000
うち揺れ	約26,000	約2,300
うち液状化	約300	約300
うち津波	約3,800	約5,300
うち急傾斜地	約70	約70
うち火災	約4,100	約20
半壊棟数（棟）	約12,000	約19,000
うち揺れ	約8,400	約6,600
うち液状化	約300	約1,100
うち津波	約3,300	約11,000
うち急傾斜地	約200	約200
ブロック塀等の 転倒数（件）	約3,700	約900
自動販売機の 転倒数（件）	約50	約50
屋外落下物の 発生数（件）	約10,000	約200

(3) 火災被害

※季節・時間帯：冬・夕方

定量評価項目	L2	L1
炎上出火件数（件）	約70	約10
残火災件数（件）	約60	-
津波火災発生件数（件）	約10	約10

概観（理論上最大クラス）

【ハザード評価】

広い範囲で震度7に達し、沿岸部を中心に液状化が発生します。また、堤防の沈下により、低い土地では地震発生直後から広い範囲で津波の浸水が生じます。

【リスク評価】

理論上最大クラスでは、死者の約8割が津波で亡くなり、また揺れによって市全体の約4割の建物が全壊することで建物倒壊等による死者や自力脱出困難者が発生します。火災による焼失や津波による全壊も発生します。

※「-」：わずか（5未満）

※端数処理のため、合計が各数値の和に一致しない場合がある。